

森づくり活動安全研修会を 県内4地区で開催！

2024年6月25日作成
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

◀ 5/21 源流の森〔置賜〕12名参加
ヤマウルシとヌルデの見分け方
実物を見て学ぶことが大切です



▶ 5/24 いこいの森〔村山〕9名参加
足をねんざした時の応急処置
1回ではなかなか覚えられません…



◀ 6/11 眺海の森〔庄内〕14名参加
参加者の方がヤマカガシを発見！
手づかみした先生が詳しく解説



▶ 6/17 猿羽根山公園〔最上〕7名参加
応急担架で人が人を運ぶ実習
運ばれる側の不安も体験しました

森づくり活動安全研修会では、森づくりをはじめとする野外活動を楽しく実施するために、安全対策を学ぼうという趣旨で開催しているものです。今年度も県内4地区で、野外活動における応急処置法と、リスクマネジメントのワークショップを行いました。

応急処置法では、止血法やハチ刺されの対処法、応急担架、ロープワークなど、実技をまじえて研修しました。

ワークショップでは、事故を予防する観点で、実際に森林内を歩きながら、注意すべき動植物や下見時のポイントなどを研修しました。

どの会場でも、皆さんの熱心に受講されていたのが印象的でした。

～講師紹介～ ご指導ありがとうございました！



細川 秀彦 氏（応急処置法担当）
応急手当指導員
源流の森インタープリター



鈴木 秀伸 氏（ワークショップ 村山・最上・置賜担当）
自然体験活動リスクマネージャー
森林インストラクター



畠中 裕之 氏（ワークショップ 庄内担当）
日本山岳ガイド協会認定登山ガイドステージⅡ

これまで土日開催が多かったこの研修会ですが、今年度は4地区とも平日に開催しました。絆の森の参画企業や市町村などからも幅広くご参加いただき、ありがとうございました。

スタッフの私も、何度もこの研修会に関わっているのですが、今回ようやく「もやい結び」がスムーズにできました。“万が一”の時はなかなか訪れませんので、繰り返し受講で身につけていくしかありません。前に受けたからと遠慮した方も、次の機会にはぜひご参加ください！（担当U）